

後期恒例展 1



第12回 児童・生徒によるものづくり展

10月20日(水)～11月14日(日)

県内には、高岡市のものづくり・デザイン科の取り組みをはじめ、伝統的・創作的な作品の製作に取り組んでいる学校が多く見られます。今年は、小・中・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の38校、196点の作品が展示されました。



- ・ものづくり、創作を小さい時から教育されていることに敬意を表します。大きくなって日本を牽引していってくれることを願っています。
- ・子どもたちが素敵なデザインを考えて、それを形にするために工夫して、丁寧に作られたのが伝わってきました。
- ・いろんな人が自分の作品を見てくれて、うれしかった。



第52回 富山県造形教育作品展

11月20日(土)～12月5日(日)

幼稚園・保育園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校の74校、276点の作品が展示されました。家族連れをはじめとして多数の来館者が、作品鑑賞を楽しみました。



- ・子どもたちの感性の豊かさが作品にあらわれていて将来が楽しみ。小さい頃から絵をかいたり、物を造ったりすることで創造性が育まれて、中学生、そして高校生になると開花するように思いました。
- ・どの作品も素晴らしくて、想像以上に楽しめました。



第32回 富山県中学校美術展

1月21日(金)～2月6日(日)

県内の国公立78校の中学生が、日頃の学習や部活動で作った絵画や造形作品193点が展示されました。多感な心象風景を表現した中学生らしい作品が多くの人を楽しませました。



- ・一つ一つの作品が胸に迫ってきた。描いたり、作ったりする喜びに触れ、とても幸せな時間を過ごしました。
- ・絵画からオブジェまでバラエティに富んだ力作ぞろい。伝わってくるメッセージを感じながら拝見しました。
- ・孫の作品を見に来た。こんな風に見えて、こんなことを思っているのかな。本人に聞いてみたくなった。